

春日東西塔跡

春日大社の東西塔は、昔は一之鳥居の北に位置していました。西塔は 1116 年に藤原忠実 (1078-1162) が建てました。忠実は、数世紀前に春日大社の最初の建立にも関わった、有力な藤原家の一員です。東塔は 1140 年に鳥羽上皇 (1103-1156) の命で建てられました。

1180 年、戦災により両方の塔が全焼してしまいました。その後再建されたものの、1411 年に落雷に遭い、再び焼失しました。

当時の塔の姿は、春日曼荼羅で確認することができます。この両塔は、近くにある仏寺である興福寺の五重塔ににています。奈良国立博物館の近くにある敷地で東西塔の礎石を見ることができます。